

地鎮祭について

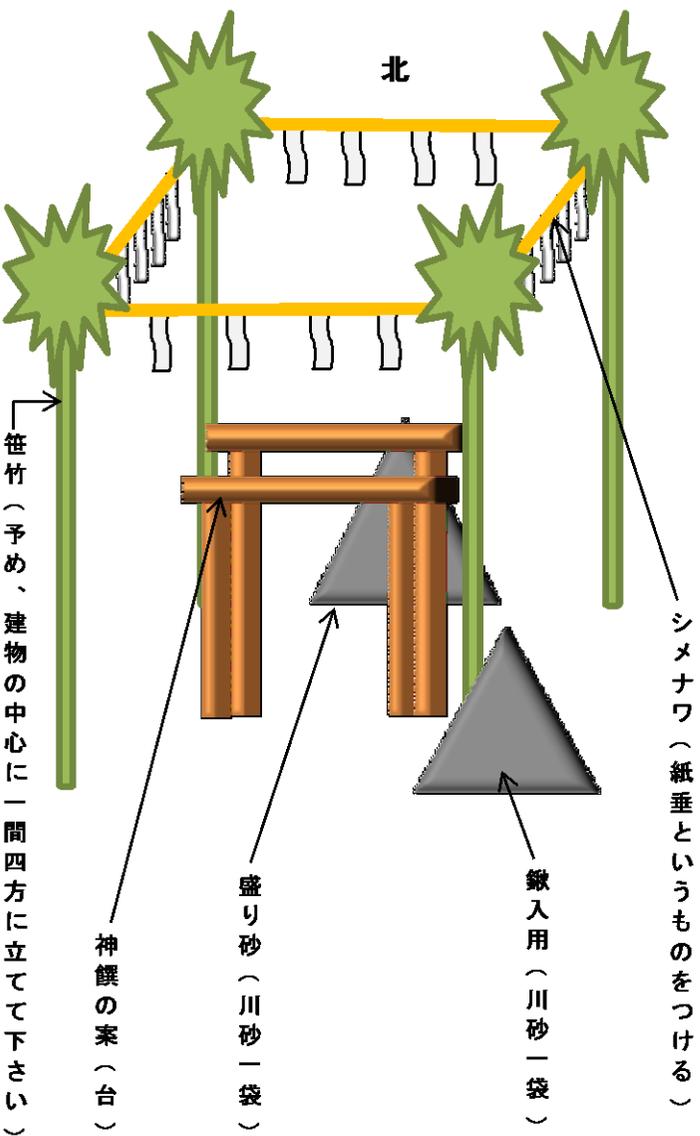
駒木諏訪神社社務所

電話 〇四(七二五四)七三七七

FAX 〇四(七二五四)七三七八

地鎮祭は、建物を築くに当たって、その土地を永遠に安定ならしめることを、神明に祈願する祭儀であります。

一般にチチンサイ又チチンサイ・俗にチマツリなどと称し、古くは古語拾遺の神武天皇の段に、宮地を斎い鎮めたことが記されており又万葉集にも「新室をしづむ子が手玉鳴らすも云々」などが載っており、太古から伝わる日本民族の習俗であります。この古い起源に伴って祭典の方式も多くありますが、今一般におこなわれているものを述べますと左図のようになります。



準備なされるものを箇条書きにすると

- 一、笹のついた長さ三米位の真竹を四本・川砂二袋
- 二、神饌といって神様に捧げる品々

- ① 米五合ぐらい
- ② 清酒一本
- ③ 塩・水
- ④ 野菜(五品)と果物(一品)その他心づくしの品々
(いずれも封を切らないもの・新鮮なもの)

※例「野菜」胡瓜、トマトなどは三個・キャベツ、レタスなどは一個・葉物は一束
「果物」林檎、グレープフルーツなどは一品で五個

右記はほんの一例ですので、季節の野菜・果物でしたらなんでも結構です。
神社でお持ちするもの

- 一、祭具 即ち神饌を盛る皿、酒を入れるおみか、それに水器から神饌を供える祭壇等。
- 二、榊 中心に立てる大きなものから、参列者が捧げる玉串用のもの数本。
- 三、シメナワも正式なものを持参します。

尚、鎌入れ等の式を行うときは、川砂をご用意いたします。
又、雨天時には必ずテントとシートをご準備願います。